

TOSHIBA

東芝漏電ブレーカ取扱説明書

- このたびは、東芝漏電ブレーカをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。
- お求めの東芝漏電ブレーカを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様は、お読みになったあとも必ず保存してください。

施工上のご注意

1. 結線は電源側と負荷側を正しく接続してください。逆接続可能形の表示のある漏電ブレーカは、電源側と負荷側の区別なく接続できます。
2. 過電圧検出リード線付きの漏電ブレーカは、過電圧検出リード線を、負荷側の中性線に確実に接続してください。
3. 端子ねじは確実に締め付けてください。中性極2ねじ端子の漏電ブレーカは、ストリップゲージに

合せて電線をストリップし、中性極に接続してください。その際、端子ねじは2本とも確実に締め付けてください。

4. 結線後、テストボタンを押して動作の確認をしてください。
5. 温度、湿度、粉塵、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境のご使用の場合は、箱に納める等、適切な処置を施してください。
6. 漏電ブレーカは垂直に取り付けてください。
7. 接地が必要な負荷機器には必ず接地工事を行なってください。
8. モーター保護兼用漏電ブレーカは、モーターの全負荷電流と、漏電ブレーカの設定電流を合わせてご使用ください。
9. 感度切替え付きの漏電ブレーカの定格感度電流の値は、保護協調のため、分岐漏電ブレーカの定格感度電流の値より大きい値に設定してください。

ご注意とお願い

1. 電源側の両端極での欠相時、漏電保護はできません。
2. 線間電圧による感電は防止できません。
3. テストボタンを通常の開閉操作には使用しないでください。
4. 地絡保護専用の機種(OCなし)は、過負荷や短絡保護はできません。過電流保護装置を併用してください。
5. 漏電ブレーカの動作により支障をきたす設備（非常用機器、生物の育成栽培用の設備等）には、停電を警報する装置を併用してください。

漏電ブレーカが切れたときの処置

◆漏電ブレーカが主幹設置の場合◆

1. 分岐ブレーカをすべて『OFF』にしてください。
2. 漏電ブレーカを『ON』にしてください。
3. 分岐ブレーカを1台ずつ『ON』にしてください。
4. 漏電ブレーカが再び切れたら、その分岐回路に異常がありますので、電気工事店に点検を依頼してください。

◆漏電ブレーカが分岐設置の場合◆

1. その回路に異常がありますので、電気工事店に点検を依頼してください。

保守、点検

1. 必ず月に1回は、テストボタンを押して動作の確認をしてください。
2. 線間の絶縁抵抗測定は、電線を外して行なってください。

取付年月日	年	月	日
工事者名			
TEL			

東芝ライテック株式会社 照明電材事業部

〒140 東京都品川区南品川2-2-13

南品川JNビル TEL (03)5463-8777

(0627C)